

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	インクルーシブ教室 白ゆり		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月1日		令和7年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園や学校で子どもの様子を客観的に見て、先生方と情報交換し、共通認識が図れる。	園や学校の方針に沿って支援をしている。	園や学校と同じ方向を向いて支援する。こまかい部分まで情報共有するように努める。
2	園や学校での困り感や課題について、お互いに意見を出し合い、話し合っ解決している。	その場で解決することもあれば、事業所内でのケース会議で検討し、支援の仕方を実際の療育の場で実践して、その様子を伝えることもある。	課題を園や学校と共有し、より良い解決方法を見い出すよう、広い視野で検討する。
3	法人の連携園においては、比較的スケジュール調整が行いやすい。	事前に年度のスケジュール確認ができる。	連携園以外の訪問先についても、事前に年度のスケジュールを把握するようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園や学校の先生方と早い段階で信頼関係を築き、話しやすい環境にしたい。	園や学校と密に連絡を取り、情報交換したい。	事業所の方から、積極的にアプローチしていきたい。
2	保育所等訪問支援は限られた日数での支援なので、より効果的なサービスを常に模索している。	その日ごとに、めあてを定めている。ポイントをしぼって、見守ったり、支援をしたりと適切にかかわる工夫をしたい。	より効果的に子どもの成長が促せるよう、ひとりでかかえこまず、事業所内のミーティングで検討し、実践するなどしたい。
3	訪問支援員のスケジュール上、園や学校のご希望の日程にそえないことがある。	月3回入れるのにお互いのスケジュール調整が難しい月がある。	年間スケジュール(行事等)を年度始めに確認し、予定を早めにたてる。